

つくば公園通り(ペデストリアン)の現状

2014. 3. 22調べ

つくば公園通りの改修工事が数年前から行われております。確かに改修工事によって、改善されたことも多くあると思います。一番にあげられるのは外灯が増えたことです。そのような良い改修の中で、ペデストリアンの最南地点に整備されていた石畳路が壊されようとしています。市の理由としては、1. 歩きやすさ(バリアフリー) 2. 維持しやすさ 3. 安全面ですが、景観についての配慮はありません。維持管理のしやすさではアスファルト歩道が、数年で木の根が持ち上げられて補修が必要になっています。安全面においてもアスファルト路になることで、歩行者と自転車の分離が不十分になり、逆に危険性が高まることが考えられます。



洞峰・赤塚地区 石畳路



私たちは、この地区の石畳破壊に反対しています

立派な御影石による石畳。木の陰と石畳の目地の組み合わせがきれいです。これを壊すとは！石そのものの破壊はまったくありません。

数年前の改修では、外灯は25m間隔で設置され、大変よくなりました。

洞峰・赤塚地区(700m)の区間に、4か所補修すべき箇所がありました。

洞峰・赤塚地区(700m)は、石畳路とアスファルト路の2路になっています。

参考)松見地区



雑然感のある天久保SCに隣接したこの地区ですが、景観的に大きく改善されました。病院職員ボランティアによる植栽も見事です。

参考)竹園地区



国際会議場エポカル前 原色の赤と青に塗り分けられました。つくば市都市景観計画には周辺施設や緑との調和とあるのに...



デイズタウン前 施工後2年とたっていないのに、色落ち激しい。



南大通りを渡る橋、北側こちら施工後2年以上なのに、すでに陥没開始しています。

洞峰・赤塚地区 アスファルト路

石畳と並行するアスファルト路。何度も補修した痕跡があります。現在も亀裂を約10m間隔ぐらい確認できます。アスファルトは工事が早く安い反面、傷みが早いことがわかる。



水たまりもアスファルト路のほうがひどい。

自転車通学路にもなっているので、透水性アスファルトへの改修が予定されていることは喜ばしいです。

洞峰・赤塚地区のH26年度予定工事

なぜ破壊？

施工後40年、震災を経験しても、堅牢な石畳。並行してアスファルト路もあるので、バリアフリー対策も十分であるはずなのに...。この街路の計画経緯は、1.歩きやすさ 2.メンテナンス性 3.景観性 4.経済性から判断され自然石を採用されています(※参照資料1)。つくば市都市景観計画(※参照資料2)も無視されているのではないのでしょうか。しかも、高価な御影石は粉碎され、産廃費用をかけて廃棄されています。

歩車分離があいまいになり、こんな看板が増えるのかも...

